

## ナラ枯れ緊急報告会 Q&A Ver.1

### 被害の把握・市民の声に関する質問

【質問1】 私の実家は大文字山のすぐ近くにあり、大文字にはよく登っています。大文字山は地域住民の方から観光客の方まで良く登山をしているのですが、しばしば健全木や被害木に被覆されたビニールを取ったりする人がいるようです。そこで、大文字山に限らず、こういったナラ枯れの被害について、一般市民（地域住民）の方によく知ってもらい、身近に感じてもらうために、こういった対策をすべきとお考えでしょうか。

【回答】 様々な機会を通じて、広報を行っていきたいと考えています。

【質問2】 ナラ枯れをどうにかしてほしいという市民の声はどれくらい感じますか？ 具体的にどのような市民の意見がありますか？

【回答】 8月以降、2箇月で60数件の声を頂いています。その主な内容は、①自宅または居住地域の危険木への対策要望、②防除経費への支援、③ナラ枯れの状況診断、④ナラ枯れによる景観悪化への苦情、⑤ナラ枯れ対策の状況と発生メカニズムに対する問い合わせ、⑥対策予算を増額確保するよう要望、⑦枯死木を放置した場合の影響などとなっています。

### 駆除に要する経費等に関する質問

【質問3】 被害木の伐倒処理は、1本（1m<sup>3</sup>）あたりどのくらいのコストがかかるのですか？ また、1日に熟練者で何本くらい伐採処理できるのですか？

【回答】 斜面の傾斜、周辺に家があるか否かの状況等により、かかる費用はかなり差がありますが、国有林では平均1m<sup>3</sup>当たり5万円程度かかっています。また、市街地の民家裏や道路周辺など、いわゆる危険木の伐採には、吊り切り作業やクレーン作業、足場組み作業など特殊な工程が加わるため、通常作業の数倍の経費、場合によっては1本（1.5m<sup>3</sup>程度）の処理に100万円を超えることもあります。

【質問2】 ナラ枯れのための予算は、いくらぐらいでしょうか？ また、予算の理想と現実に差はありますか？

【回答】 本年度の予算は、約6千万円程度です。被害処理には、被害木の所有者確認作業に相当の時間を要すること、また伐採技能者の確保に限界があることから、予算が多く確保できても今年度の発生推定数約2万本の全てを処理するのは困難です。

【質問3】 ビニールシートをはずす経費は？ いつ誰がはずすのですか？

【回答】 民有林で使用している燻蒸用ビニールシートは生分解性プラスチックなのでそのまま放置しても問題ありません。

国有林で使用している燻蒸用ビニールシートは生分解性ではないので、古いものから順次、回収作業を行っています。

幹に巻きつけたものは、周辺の被害が収束するまで残置しておく必要があり、はずすのは原則実施した人が行うこととなります。

#### 被害の経年変化に関する質問

【質問1】 京都府の被害が、経年的に北から南へ進行しているのはなぜでしょうか？

【回答】 はじめ日本海側で被害が発生し、広がっているためです。

【質問2】 平成8年以後、府北部でナラ枯れが減った理由は？

【回答】 対象となるナラ類が少なくなったことによると考えられます。

【質問3】 舞鶴青葉山のように終息したとみられる箇所その後の現況は（更新等）？人為的処置はあったのですか？

ナラ枯れの終息した地域では、なぜ終息したのですか？

またもう一度被害が出ることもあるのでしょうか？

「ナラ枯れ」とは日本海側を中心に被害が発生しどんどん南へ移っている。このまま被害が南へ移っていき、最南端まで行くとどうなるのでしょうか？被害は収束するのでしょうか？

ナラ枯れを放置しておくとうどうなるのでしょうか？

【回答】 カシノナガキクイムシの好む直径の太いものが少なくなれば、終息すると考えられますが、残ったものがまた太くなれば発生する可能性があります。

カシノナガキクイムシには、北方から広がっているものと南方から広がってきているものの2種類があり、カシノナガキクイムシの好む太いナラ類がある限り被害は発生するものと考えられます。

#### 被害の防除方法に関する質問

【質問1】 一番枯れている樹種は、コナラですか？ 庭園において、シイ、カシへの予防としての樹幹注入の実施はしていますか？

【回答】 京都市街地周辺で枯れが最も多いのは、コナラです。

樹幹注入は、効果が限定的でまた高価なため実験的以外に使用していません。

【質問2】 樹木の活力アップの方法は考えられないのか？

殺虫剤使用とかでなく、土壌改良とかの方法は？

【回答】 現在試みしていません。

### 被害木の利用に関する質問

【質問1】 岩倉のまつたけ十字軍では、伐採した赤松を陶芸の薪として利用したり、クヌギ等は風呂屋の燃料として利用しています。しかし、伐り出すところまでの作業が大変なので、そこまでは行政が行うか支援し、そのあとの割木にしたり、薪を安い値で市民や業者に分ける仕事を、NPO等に委託できないでしょうか？

行政は森林資源を循環的に利用する暮らしを支援する取り組みをしていないのでしょうか？

【回答】 カシノナガキクイムシの被害木は、森林病虫害防除法によって感染が広がるのを防ぐため移動に制限がかかっています。

しかし、薪にして燃やしたり、ペレットにすれば確実に虫が死にますので、有効に利用ができないか考えていきたいと思います。

### その他の質問

【質問1】 京都府予算によるナラ枯れ後の危険枯死木の除去事業があるが、執行している地域、場所を限定している理由はなぜか？ 京都市街地優先の理由は？

【回答】 危険枯死木対策については地域・場所の限定はありません。

【質問2】 久多の事例において、「ササ枯れ」が事前にあったことが大きく影響していると考えられるが、ササ枯れの復旧状況はどうか？

【回答】 現在、自然復旧は進まず、裸地化が進行しています。ササ枯れ後、実生芽生えは確認していますが、シカに食害されており、成長していません。

【質問3】 ツクバネガシの枯損事例はあるのか？

【回答】 多くはないが枯損木が確認されています。

【質問4】 外山所長の報告データに「神山」の被害が大きかったように思いますが、これは上賀茂神社の神体山の神山のことですか。

【回答】 その通りです。